

会社概要

商号 林兼産業株式会社
本店所在地 〒750-8608
山口県下関市大和町二丁目4番8号
TEL (083) 266-0210 FAX (083) 266-1266
主要製品 食肉加工品(キリシマハム)・肉類(霧島黒豚)
魚肉ハム・ソーセージ(マルハハム・ソーセージ)
養魚用飼料

役員一覧

平成28年9月30日現在

取締役社長 (代表取締役)	熊山 忠和
専務取締役 管理本部長 兼品質保証部担当	中部 哲二
常務取締役 飼料事業部長	比嘉 幹男
社外取締役 (非常勤)	石川 達紘
取締役 水産食品事業部長 兼水産食品営業部長 兼開発部担当	西村 伊知郎
取締役 畜産食品事業部長 兼大阪支社長 兼東京支社担当	三井 宏
常任監査役 (常勤)	山本 昌信
監査役 (非常勤)	大深 邦宏
監査役 (非常勤)	和仁 皓明
監査役 (非常勤)	川崎 哲彦

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
特別口座の口座管理機関
連絡先 東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所(市場第一部)

公告の方法 電子公告により行う



この報告書は、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。

Today's Special

自社ブランド 「霧島黒豚」の新製品

薩長同盟150周年ギフト
西郷どん味噌漬



今年は薩長同盟(1866年)が結ばれてから150周年。その締結を記念して、長州(山口県)に本社がある当社が、旧薩摩(宮崎・鹿児島)の食材を活かした商品を作り上げました。



●西郷どん味噌漬とは

本人自ら味噌と醤油を作るほど料理に興味をもっていた「西郷隆盛」。そんな西郷さんが作った味噌を、限りなく近く再現したのが、「西郷どん味噌漬」です。

本商品は、西郷さんが好きだった豚(霧島黒豚)を、麦麴をたっぷり使用した甘口の味噌に漬けた逸品です。

※本商品は当社お歳暮ギフトの「霧島黒豚コースのご当地味噌漬食べ比べセット<8枚>」にてご提供しております。



当社ホームページでIR情報等がご覧いただけます。

<http://www.hayashikane.co.jp/>

林兼産業

検索

証券コード | 2286

With you

第78期
中間期
株主通信 平成28年4月1日～平成28年9月30日



社長から皆さまへ

株主の皆さまに第78期中間株主通信をお手もとにお届け申しあげるにあたりまして、日ごろのご愛顧とご支援に厚く御礼申しあげます。

当中間期の当社グループの売上高は、養魚用飼料や肉類の売上減少などにより230億55百万円(前年同期比2.8%減少)となりました。損益面におきましては、営業利益は5億73百万円(前年同期比2.2%減少)となったものの、営業外損益の改善により経常利益は5億82百万円(前年同期比4.7%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億44百万円(前年同期比43.7%増加)となりました。

当社グループは本年4月からの2か年を「強化」の期間とし、「人財育成」および「基盤整備」を基本方針とする「第三次中期経営計画」(平成29年3月期～平成30年3月期)を策定し、スタートさせました。

経営計画に基づき、「人財育成」については、課題解決による能力向上をテーマに、新人事評価制度の構築やOJT、QC活動等、あらゆる手段を活用して個々の能力開発や技術レベルの向上を図っており、「基盤整備」については、前計画の基本方針である「売上最大」「品質最高」「経費最小」に継続して取り組み、一層の強化に努めております。また、今後拡大すべき部門の組織強化を行い将来に向けた体制整備に努めるなか、当社は人員増強による営業拠点拡充のため、本年4月に大阪支社を開設いたしました。大消費地である関西地区を中心に、営業活動の強化および売上の拡大を図ってまいります。

今後もこの新たな経営計画のもと、これまでに取り組んできた経営資源の選択と集中、売上拡大戦略をベースに、安定的な利益確保に向けて構造強化を図り、持続的な事業発展を目指してまいりますので、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年12月

取締役社長

熊山 忠和



※「第三次中期経営計画(2か年経営計画)」の詳細につきましては、当社ホームページ「IR情報」をご参照ください。
[<http://www.hayashikane.co.jp/ir/index.html>]

林兼産業株式会社

セグメント概況

[水産食品事業]



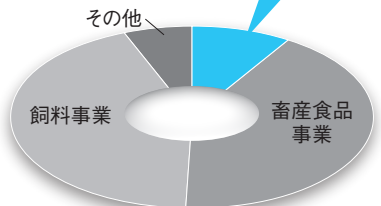
魚肉ねり製品におきましては、市場の縮小傾向を背景に国内生産量が減少するなか、海外への輸出量が増加したものの、魚肉ソーセージの主力取引先への販売数量が減少したことにより、減収となりました。

機能性食品におきましては、機能性食品素材カツオエラスチンや高齢者向けソフト食「ソフミート」の拡販に努め、新規取引が増加したことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は20億61百万円(前年同期比3.3%増加)となりました。

セグメント別売上高

20億61百万円
(前年同期比3.3%増)



[畜産食品事業]



ハム・ソーセージ等食肉加工品におきましては、食肉加工品の国内生産量が前年並に推移するなか、ロースハムやベーコンなどのOEM(相手先ブランド供給)製品の販売数量が減少したことにより、減収となりました。

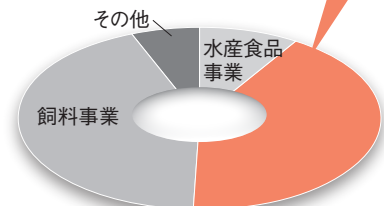
肉類におきましては、鶏肉の販売数量減少や豚肉の販売単価下落により、減収となりました。

調理食品におきましては、大手量販店向けPB(プライベートブランド)製品の受注を開始したことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は96億33百万円(前年同期比4.0%減少)となりました。

セグメント別売上高

96億33百万円
(前年同期比4.0%減)



[飼料事業]



養魚用飼料におきましては、国内生産量が前年を上回るなか、円高による輸出量の減少などがあり、減収となりました。

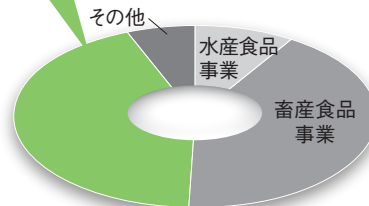
水産物におきましては、鰻の取り扱い量増加やブリの拡販に努めたことなどにより、増収となりました。

畜産用飼料におきましては、原材料価格の低下を受けて値下げを行ったことにより、減収となりました。

これらにより、売上高は100億5百万円(前年同期比5.2%減少)となりました。

セグメント別売上高

100億5百万円
(前年同期比5.2%減)



中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当中間期 (平成28年9月30日)
資産の部	
流動資産	12,488
固定資産	15,990
有形固定資産	9,780
無形固定資産	30
投資その他の資産	6,179
資産合計	28,478
負債の部	
流動負債	14,884
固定負債	7,345
負債合計	22,230
純資産の部	
株主資本	4,729
資本金	3,415
資本剰余金	8
利益剰余金	1,312
自己株式	△ 6
その他の包括利益累計額	819
その他有価証券評価差額金	891
繰延ヘッジ損益	△ 0
為替換算調整勘定	13
退職給付に係る調整累計額	△ 85
非支配株主持分	698
純資産合計	6,247
負債純資産合計	28,478

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	23,055
売上原価	19,473
売上総利益	3,581
販売費及び一般管理費	3,007
営業利益	573
営業外収益	154
営業外費用	145
経常利益	582
特別利益	0
特別損失	17
税金等調整前四半期純利益	565
法人税、住民税及び事業税	99
法人税等調整額	1
四半期純利益	464
非支配株主に帰属する四半期純利益	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	444

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	348
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 194
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 307
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 154
現金及び現金同等物の期首残高	1,415
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,261

